

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：航空・空港	
日付：11月22日（日）曜日、セッション時間：9：00～10：30	
司会者名（所属）：花岡 伸也（東京工業大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 3つの発表共に国内の航空問題の中で大きな議論となっているテーマであり、いずれの発表でも活発な議論が行われた。最初の発表の機材の大きさは空域運用や路線撤退にも関係するものであり、一貫した議論が行われた。
	（199）竹林 幹雄（神戸大学）： 機材ローテーションや将来の保有機材の影響について質問があった。 航空機の最大運用時間として入れられるかもしれないが、計算できるかどうかわからない。 リニア開通の影響は時間のみを考慮した。
	（200）清水 吾妻介（東京工業大学）： 提案された2つの新滑走路に決めるクリティカルな要因について、議論になった。成田や横田の空域の影響は少なく、現行滑走路の運用の制約が大きいとのことだった。
	（201）藤生 慎（東京大学）： 他の要因として、路線の特徴（ビジネス、観光）、複数の空港の位置関係なども影響しているのではというコメントがあった。